

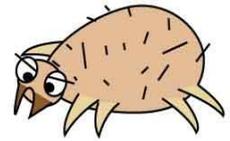
* 乾燥性敏感肌とは？ *

『乾燥性敏感肌』とは、乾燥しやすく敏感な状態になり刺激が皮膚に侵入しやすくなってしまった肌のことです。

乾燥の為に刺激から肌を守る機能が弱まってしまっているのが『乾燥性敏感肌』ですつまり、『乾燥肌』と『敏感肌』の、両方の症状を併せ持った肌ということです。

人は様々な外部刺激（気温の変化、乾燥、ダニ、ハウスダスト、雑菌、摩擦など）さらされて生活しています。しかし、乾燥した肌はセラミドが不足して肌バリアが弱まっているので、汚れや細菌などが侵入しやすい状態なのです。

また、皮脂や角質は肌の水分を守って潤いを保っていますが、角質が傷つくと肌の水分が蒸発しやすくなるので、皮膚がさらに乾燥してしまうという悪循環を起こし、乾燥性敏感肌になってしまうのです。



* 乾燥性敏感肌になる原因 *

乾燥性敏感肌はセラミド不足が原因です。

セラミドは、外部刺激の皮膚への侵入を防ぐ**バリア機能**、角質層の水分を保持するという**保水機能**の2つの重要な働きがあります。

しかしセラミドが不足すると、水分を保つ事ができずカサカサした状態になってしまいます。また、バリア機能が低下するので、外部刺激が侵入しやすい状態になり、様々な肌トラブルを引き起こす原因となります。

セラミドの量は体質で決まりますが、**10代半ばをピーク**に、加齢に伴って減少し、**40代では半減する**といわれています。

* 敏感肌とアトピー *

アトピー性皮膚炎とは、アトピー素因をもった人に慢性的に強いかゆみが発症する湿疹のことをいいます。アトピー素因は遺伝でもつことが多く、親のどちらかがアトピー素因を持っている場合は約**60%**の確立で発症するようです。

またアトピーは都会病の1つともいわれ、都市部に住む人に多いのが特徴です。

日本でもアトピーは以前と比べ増加しており、特に小さな子供のうちから発症するケースも増えています。

アトピー素因をもつ人の肌は、通常の皮膚に比べて皮脂が少なかったり、汗分泌がうまく機能していないなどの問題を抱えています。

また、アトピー肌の人には乾燥肌になりやすく、皮膚のバリア機能も低下している傾向があります。